

岩手県医療局・岩手県立病院 (20病院6地域診療センター)



#地域医療 #幅広い医療 #医療・介護・福祉との連携 #県民の安全・安心

岩手県立病院は、「県下にあまねく医療の均てんを」を基本理念として、県民の安全・安心を守るため、岩手県内に20の病院と6の地域診療センターを設置しています。この設置数は都道府県立病院としては全国で最も多く、広い岩手県内のどこにいても平等に医療が受けられるように、という思いが込められており、昭和25年の発足から現在に至るまで、岩手県の各地域における医療を守る重要な役割を果たしています。

岩手県立病院は、県内にある9つの二次保健医療圏の中でそれぞれ中核的な役割を担い、救急医療、高度・専門医療、慢性期医療、回復期医療、精神医療など県民の皆様へ幅広い医療を提供しています。それだけに病院には医師や看護師・助産師をはじめ、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、調理師、臨床心理士、医療社会事業士、視能訓練士など数多くの専門職が働いており、それぞれの専門職がひとつのチームとなって、それぞれの専門領域で自分の力を発揮することで県民の命を守っていく、とても重要でやりがいのある仕事がここにはあります。

